

のがたちくかんきょうほぜんこうじょうのかい
野方地区環境保全向上の会（立科町）

・組織の活動面積	A=	57	ha
・組織の構成員数	約	200	人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	農家、野方区、野方公民館、ホタル水路保存会、婦人会、老人会、野方育成部、青年団、立科土地改良区など
-----	---

組織の概要

当地域は、蓼科山からの湧水により発展してきた水田地帯の中心に集落を成し、水田農用地は農道・水路等により区画整備されています。これらの貴重な農村資源を守るために、農家、非農家を含めた全区民により農村環境の良好な保全と質的向上を図るため、一丸となって活動に取り組んでいます。また、活動により、老人クラブから育成会まで老若男女地域のコミュニケーションの活性化を図っています。

みんなで守ろう農地・水・環境保全



用水路の水路敷にみんなでつつじの植栽をし、水路の保全と農村景観の向上を図りました。

野方地区環境保全向上の会は第1期対策から継続して活動しています。農道・水路の点検や補修による資源の長寿命化はもちろん全区民が会員として参加、地域の環境保全の意識向上を図っています。



開花時期の200メートルのつつじ並木



希少生物「オオルリシジミ」保護に向けての第一歩！公民館長を中心に青年部・育成会のみなさんと、地域内の「オオルリシジミ」の生育に欠かすことのできないクララの保全活動と学習会の開催を通じ、環境保全の大切さを学んでいます。



地域内の不耕作農地に育成会のみなで毎年秋にチューリップの球根を蒔き、春には満開！また、その後いろいろな花々を植栽し区民の目を楽しませています。

